

理学部史料室所蔵ミニ資料展のお知らせ

山口大学人文学部、理学部創立 70 周年及び前身の旧制山口高等学校創立 100 周年を機に OB・関係の皆様より頂いた資料を展示します。



第 2 回は「**官立山口高等学校の山口文理科大学昇格運動**」です。

2022 年 6 月～ 山口大学人文・理学部管理棟 2F

戦後、旧制の高等学校や専門学校は 5 年以内の昇格か廃校を言い渡されます。これは大変だと、各校で存続をかけた昇格運動が始まるのですが、国が突然、中国地方に 1 つの総合大学と言い出します。うそじゃろ、こりゃ各校でやってる場合じゃない！、団結して広島県や岡山県と戦わなければとなり、各校それぞれの昇格運動は腰折れ状態。

最終的には GHQ の思惑（横やり？）もあって、無事山口大学の誕生となります。

興味深いのは、山口文理科大学設立後援会のメンバー。ほぼ全員が旧旧山高出身です。旧旧山高は明治 19 年に設立された官立山口高等中学校の流れをくむ学校で、いろいろあって明治 38 年に官立山口高等商業学校（高商）へ校舎を引き渡して廃校となります。

しかし、官立山口経済専門学校（旧高商）の昇格運動の中核は何故か同窓会の「鳳陽会」。旧旧山高→高商→経専という流れであるのであれば、旧旧山高の人たちが経専の昇格運動の中核であるはずなのですが・・・

ボロボロの、わら半紙ガリ刷りの「昇格趣意書」ですが、上記の疑問も含め、そこからいろんなことを妄想する事ができます。今回は史料の大切さを痛感しました。残っていたからこそ解る事があります。可能な限り後世へ引き継ぎたいとは考えてはおります。

（文責：人文学部・理学部事務長）